



出演者一同勢ぞろい 压巻でした

写真① 開幕直前に撮影しました。連絡の手違いから萩野仁志先生が外出中で不在です。



ご挨拶する松木委員

第49回ドクターズ・ファミリーコンサート

22年11月17日(日)、昨年に引き続き東京・神楽坂の「音楽の友ホール」で、ドクターズ・ファミリーコンサートを開きました。番組数は12。うち声楽に新人一人が参加、また岩崎先生らが連続出場を果たされました。これまで出演時間の違いから、なかなか全員がそろった写真(上)はなかつたのですが今回実現しました。伴奏者も含め豪華な陣容です。数々の名曲を中心多彩な番組が続き、最後までお客様まと一緒に、仲間の演奏を楽しみました(太字は会員)。

プログラムに先だって、洋楽部委員の小川昭子先生が「医療に従事する多忙な時間の中で、趣味の音楽に打ち込み、これからもとともに楽しん

①1番「みんなで歌おう」

歌唱指導を萩野昭三先生から刑部美也子さんに引き継がれでから、もう何年になるのでしょうか。

今回はオードウエイ作曲の「旅愁」(原曲は *Dreaming of Home*

声楽陣、新たに一人参加

ベテラン組みも元気に連続出場

and Mother; (家と母を夢見て) です。訳詞は犬童球溪 (いんじゅう・きゅうけい)。

奇麗な日本語のせいもあって、100年も前から歌い継がれてきた曲です。会場の皆さんも、砂井馨さんのピアノ伴奏で

声高らかに「ふけゆく秋の夜」と合唱しました。



② メゾソプラノ独唱 加茂 和子

②メゾソプラノ独唱 加茂 和子
ピアノ伴奏 原田 園美
「貴女が私に死の栄光を」

スカルラッティ オペラ 「十人委員会の凋落」から
「アヴェ・マリア」 カツチーニ

加茂先生はさいたま市浦和区で40年

近く耳鼻咽喉科を開業しています。「たくさんの患者さんに信頼され、声楽家ではなく医師になつて本当によかつた」と満足されています。若い頃から趣味で歌つており、30年ほど前にはクラブの会員でした。そのときはステージに立つことではありませんでした。今回再入会され初出演です。なお、加茂先生は医学学生時代、菊地鎌二先生に教わったそうです。

③バイオリン独奏 中村 雄彦
ピアノ伴奏 豊嶋 玲子

「バイオリン協奏曲第2番ト長調」より
第1楽章
ハイドン

中村先生は上越市で皮膚科医院を開いており、東京在住で歯科医をされている



③バイオリン独奏 中村 雄彦
ピアノ伴奏 豊嶋 玲子

お嬢さんも会員で、高校生の頃から、このコンサートに出演し続けています。
新潟県医師会報に寄せられた一文によりますと、「これまでバッハ、ヘンデル、ベートーベンらの協奏曲やソナタを弾きハイドンには手を出さなかつた。彼の一番有名な第2番の楽譜を見てみると、活

そのもの、弾いていると王侯の気分になる」と述べております。



④ソプラノ独唱 青木 明子

す。今回は、同じ先生について声楽を勉強されている大坪公子先生の紹介で初出場です。最初の曲は悲しい恋心、2番目は恋心を明るく……対照的な女心の微妙さを歌いました。

⑤テノール独唱

ピアノ伴奏 西島 麻子
浅野 尚



この会には西島さんとのコンビで常連です。毎年、日本の曲を入れていますが、今回のテーマは「家族」でしょうか。父を偲んだ「くちなし」のほか、故郷で待つておられる「母」、そして三大テノールのホセ・カラースが愛唱する「冬」を入れました。

⑥クラシックギター独奏 岩崎 哲

ギター組曲ホ短調ブーレ バッハ
「二つのギター」ロシア民謡

岩崎先生の連続出場は半世紀になります。数々の名曲を披露されましたが、今



④ソoprano独唱 青木 明子
ピアノ伴奏 要 浩子
「あなたの優しい声が」 ベツリーニ
オペラ「清教徒」から
「今の歌声は」 ロッシーニ
オペラ「セビリアの理髪師」から
青木さんのご主人宏明先生は内科医で

「くちなし」 作詞 高野喜久雄
作曲 高田 三郎
作詞 竹久 夢二
作曲 小松 耕輔
「冬」 アカンボーラ
浅野先生は香取市で耳鼻咽喉科を開業、

回はバッハの時代に宮廷で開かれた舞踏会に使われていた拍子の速い曲です。



⑦女声コーラス 元コロアキの皆さん

ピアノ伴奏 刑部美也子
「まちばうけ」 作詞 北原 白秋
作曲 山田 耕筰

「円舞曲」 ブラームス
「埴生の宿」 ビショップ

おなじみの曲ばかりです。一緒に口の中で歌い、メロディーをなぞりました。それだけにコーラスの楽しさを堪能できました。病児保育で忙しい小川先生のリフレッシュには欠かせない合唱。いつも友情出演で支えてくださる刑部さんら皆さんに感謝いたします。

⑧ソプラノ独唱 大坪 公子

ピアノ伴奏 要 浩子

「母もなしに」 プッチーニ

オペラ「修道女アンジェリカ」から

「楽しい思い出はどこに」 モーツアルト

オペラ「フィガロの結婚」から

⑨バリトン&ソプラノ二重唱
菊地 錠一 辻村 倫子
ピアノ伴奏 長谷川由希

「ヴィオレッタとジエルモンの二重唱」
ヴェルディ 「椿姫」 第2幕から

ソプラノ 広瀬珠恵・宮崎洋子・田代久子
アルト 砂井 馨・矢部泰子・小川昭子
⑦女声コーラス 元コロアキ

ソプラノ 広瀬珠恵・宮崎洋子・田代久子
アルト 砂井 馨・矢部泰子・小川昭子

の名曲を2曲。まず、わが子と引き裂か

れ修道院に入る母の悲しみと、一転して浮気な伯爵である夫をたしなめ、反省したこと温かく許して家庭を回復する賢い夫人を歌い分けました。なお先生はその2週間後に地元のホールでリサイタルを開かれました。



⑧ソプラノ独唱 大坪 公子

きよ変更、椿姫に息子との別れを迫る父
親役を演じました。お相手の辻村さん、
ピアノの長谷川さんとも息ぴったりでし
た。



⑨バリトン\$ソプラノ独唱 菊地 鎌二 (右)

「アドリアーナ・ルクブルール」チレア
第1幕から「私は芸術の下僕」
小平市で眼科医院を開いている松木先
生は心から歌が大好きな先生。洋楽部を
ひっぱって来られた諸先生が亡くなられ
ました。



⑨ソプラノ独唱 松木 耀子

た後、小川先生と懸命にこのコンサート
を支えておられます。

初めに、医師で文学者の加藤周一氏の
詞、過ぎ去つた恋を思い出すという「さ
くら横丁」。大人の感傷をさらりとうたい
ました。



⑩ピアノ独奏 萩野 仁志

萩野先生は町田市で、故昭三先生と同
じ耳鼻咽喉科を開業されています。これ
までも時折、出場していました。昭三先
生が亡くなられて今回はその追悼演奏と
いわば鎮魂曲でもあり、父へ捧げる曲で
いきました。

⑩ソプラノ独唱 松木 耀子

ピアノ伴奏 平野 義子

「さくら横丁」

作詞 加藤周一

⑪ピアノ独奏 萩野 仁志

ソルグスキーキー

作曲 別宮 貞雄

「展覧会の絵」から ムソルグスキーキー

もいえるもので、白鍵に触れる前にマイ
クを手に接拶されました。曲自体が、ム
ソルグスキーキーが友人の遺作展で見た
一枚の絵の印象を音樂に仕立てたもので、
いわば鎮魂曲でもあり、父へ捧げる曲で



⑫マンドリン・アンサンブル

⑫マンドリン・アンサンブル

第1マンドリン 龜岡 智子
第2マンドリン 木内 徹子
マンドラー 笹 美智子

ギター 高橋 妙子
キーボード 中山 真理
アヴェ・マリア カツチーニ

「クリスマスは家で過ごそう」

「We Need a Little Christmas」

ミュージカル「メイム」から 学生時代の仲間がアンサンブルを再結成してから33年目です。笹先生のお嬢さん中山さんの後押しで、映画音楽集や世界の名曲を披露してきました。今回はクリスマス特集。2番目の曲は先の世界大戦中、ビングクロスビーが戦場の若い兵士の胸のうちを歌つてヒットしました。先生方は

12月にTホテルで33周年記念コンサート

した。難曲ですが全曲演奏をめざしておられるだけあって、聴衆に深い感銘を与えた。



トを開きました。数々の曲をこなし、これからも活躍を期待されます。

今秋は中野ゼロホールで
中野区の施設です。JR中央線（総武線・當田地下鉄東西線）駅南口、徒歩8分ほど。中野サンプラザの反対側。大小2つのうち小ホール、それでも客席は500以上あります。ステージも十分でオーケストラが復活できるといいですね。
9月19日（月＝敬老の日）午後の部。これまでの半分、リハーサルなど進行が難しそうです。